



すいた市議会だより

No.332

7月定例会号

編集：議会広報委員会 発行：吹田市議会 ◎吹田市泉町1丁目3番40号 ◎直通電話06(6384)2663/FAX06(6338)0920

◎市議会のホームページは (<https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html>)

◎本会議のインターネット放映(生中継・録画放映)を実施しています。「議会中継(インターネット)」からぜひご覧ください。

定例会の概要

代表質問

質問

常任委員会

決算

議会のこと

議決結果

意見書等

福祉施設等への応援金支給

関連予算等を可決

統一地方選挙後、初の定例会となる7月定例会を7月12日から8月7日までの会期で開きました。本定例会では、市長から今後4年間の市政運営の基本となる施政方針が示され

たほか、福祉施設等に対する物価高騰に係る応援金を支給するための経費等を計上した一般会計補正予算(第4号)をはじめ、積立基金条例等の改正案や人選案件など、21件の議



介護サービス事業所の様子

案が市長から提出されました。

市長提出議案のうち、令和4年(2022年)度の水道・下水道事業会計決算認定等は、決算常任委員会に付託し、継続審査とすることにしました。これらを除くその他の議案はすべて議決等を行いました。

議員からは、意見書案など7件の市会議案が提出され、このうち笑顔あふれる手話言語条例案は提案者により撤回されましたが、その他の議案はすべて議決しました。(委員会での審査内容の一部は8～11面に、決算常任委員会での水道・下水道事業会計決算の審査内容の一部は12面に、議決結果等は14、15面に掲載)

主な掲載内容

- 7月定例会の概要…………… 1
- 代表質問・質問(個人質問)… 2～7
- 常任委員会の審査から…… 8～11
- 水道・下水道事業会計決算の審査から… 12
- 教えて! 議会のこと…………… 13
- 議決結果…………… 14、15
- 議会日誌、意見書等…………… 16

代表質問・質問について

7月19日、20日、21日、24日の4日間で33人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。また、記事の内容は令和5年7月定例会の代表質問・質問時点のものです。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。

代表質問

今定例会では5会派が代表質問を行いました。



吹田党
後藤 恭平

本市としての教員の確保策を

問 教員を増やし、子どもと接する時間を増やすことが教育環境の整備に必要であるが、学生の教職への魅力が低下しており、それが志望者数に表れていると考える。その認識と市独自の対応状況について聞きたい。

答 対応が困難な事象が増加し、心理的負担が増していることや、長時間労働の常態化が要因と考えている。

答市長 現在、教育委員会と密に協議を重ね、教育人事権の移譲をはじめ、大胆な突破口を探っており、一部は実現に向け、検討に入っている。

子育て支援の目的について

問 子育て支援について、働きたい人、家庭で育てたい人が、制度を自由に選択でき、平等に受けられるようにすべきと主張してきた。現在では、多様な対策が混在し、支援の目的が不明瞭であるが、市長の見解を問う。

答市長 働き手を確保する国策上の制度とはいえ、少子化対策として、家庭保育の保護者への経済支援の充実も、国策で検討すべき段階と考える。



自民党
澤田 直己

南工場跡地の有効活用について

問 未活用が長年続く南工場跡地は、関連法令の面積未満の土地の形質変更であれば、土壌汚染調査をせずに活用できる。よって、同跡地に関し、中の島公園パークPFIの実施時期に合わせ、バーベキュー場、都市型スポーツ施設など、エリア全体の魅力向上の観点から活用してはどうか。

答市長 現時点で、有効な活用策は見いだせていないが、本市南部の貴重な場所であるため、引き続き、新たなニーズの実現を検討していく。

卒煙支援ブースの設置の推進を

問 市の重点取組2023で、スモークフリーシティの実現に向け卒煙支援を推進するとある。今後の卒煙支援ブースの設置は、同様の喫煙所を積極的に設置している民間企業とも連携し、整備を加速してはどうか。

答 卒煙支援ブースについては、市民の反応から一定の評価をされていると認識している。今後、民間事業者との協力内容を確認し、既存ブースの効果検証もしたうえで判断する。



大阪維新の会
高村 将敏

すべての子どもに習い事助成を

問 本市では、習い事費用の助成を行う予定であるが、所得制限があるため対象の子どもは一部に過ぎない。大阪市では、徐々に対象を拡大し、現在では所得制限の撤廃も検討中であるため、本市でも加盟する事業者の拡大や対象となる子どもを広げ、子どもすべてを支援すべきではないか。

答市長 家庭の経済状況の差による子どもの将来への影響を懸念しており、今後、事業の効果を検証し、より実効性のある制度になるよう努める。

小学校給食の無償化を恒久的に

問 本市では、コロナ禍等で大きな影響を受けた子育て世代への経済対策として、限定的に小学校給食の無償化を行ってきた。子育て支援の充実や憲法の義務教育無償の趣旨に鑑み、給食の無償化を恒久的に実施すべきと考えるが、市長の見解を問う。

答市長 市の財政全体に及ぼす影響のほか、給食の社会的な位置づけに関する国の動向や社会経済状況も踏まえ、慎重な検討が必要と考える。



日本共産党
柿原 真生

子ども医療費の窓口負担ゼロを

問 本市では、子ども医療費の一部

を助成しており、受診時の窓口負担額は500円であるが、この負担が1食分の食費等に相当する家庭もある。物価高騰の下、習い事助成だけでなく、子育て支援として、市独自で窓口負担ゼロを実現すべきでないか。

答 医療の適正な受診、府内の医療機関の統一的な運用等のため、窓口負担を求めている。全国一律に安心して子育てができる環境を保障するのは、国の責務であり、引き続き、国に医療費の無償化を要望していく。

学童保育の指導員確保について

問 4月に実施された市長候補者の討論会で、学童保育の指導員不足が焦点となった。その中で、市長は、指導員の正規職員化やフルタイム化などを内部で協議していると発言したが、どのような検討をしているのか。

答 職員の処遇は、法で他市等と均衡を図る必要があることなどを多様な視点で整理する必要があるが、任用に伴う課題等と併せて検討している。



公明党
坂口 妙子

自転車用ヘルメット購入補助を

問 自転車用ヘルメットの着用が努力義務となり、ヘルメット購入補助事業を実施する自治体もある。本市でも交通事故による被害軽減のためにも、同事業を実施すべきでないか。

答 購入費の補助は、着用の促進につながるため、他市の実績を踏まえ、事業の実施に向けた検討を進める。

特殊詐欺被害対策を推進せよ

問 大阪府内で、特殊詐欺の被害額、件数共に本市がほぼ最多であるため、早急に対策が必要である。高齢女性の被害が多い特徴もあるが、警察を含めた関係機関との連携の現状と今後の方針に関し、市長の見解を問う。

答 本市市民の特殊詐欺被害額は、府内で突出している。吹田警察署と防犯協定を締結し、一般の連絡会議で吹田市特殊詐欺集中対策本部の設置と、民間企業、大学、市民と共に対策に取り組むネットワーク組織の展開について合意を得た。この取り組みを早急に立ち上げ、特殊詐欺犯に強く圧力をかけていきたい。

市議会ホームページから会議録の検索、閲覧ができます

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。なお、本会議については、正式な会議録が作成されるまでの間、速報版を掲載しています。(速報版は、本会議最終日(討論・採決)から、おおむね20日以内にその会期中の会議録を掲載し、正式な会議録を会議録検索システムに掲載した時点で削除します。)



市議会のホームページ

本会議録の速報版の閲覧方法

①をクリックすると、閲覧したい日の会議録が選べます。

会議録検索システムの閲覧方法

②をクリックすると、検索システムのトップ画面が表示されますので、右上にある「検索」ボタンをさらにクリックし、表示された画面内の対象年、キーワード、発言者、会議の種類などの条件を絞り込めば、質問や答弁を検索することができます。



会議録検索システム



質問（個人質問）

今定例会では28人の議員が質問（個人質問）を行いました。



吹田党
有澤 由真

子どもの将来を考えた指導を

問 本市の子どもたちは、英語の学力が高いと聞いている。単なる受験対策ではなく、国歌を尊重し、国際社会で尊敬され、活躍する日本人に成長するよう、大人が責任を持ってサポートする必要があるのではないかと。
答 教育長 自国の伝統や文化に誇りを持ち、他国の伝統や文化を尊重し、国際社会で活躍できるよう学習指導要領に則して、適切に指導していく。



立憲民主党
西岡 友和

ニュータウンの再整備の進捗は

問 竹見台・桃山台近隣センターの再整備には、地権者の合意、地権者間の合意形成が必要であるが、未同意の地権者と調整は進んでいるのか。
答 地権者らが再開発準備組合を設立し、未同意の地権者の対応を含め、事業化に向け検討が進められている。
問 北千里駅前再整備の進捗を問う。
答 準備組合と地域等との意見交換会の開催に向け、協議を進めている。



公明党
浜川 剛

緊急利用できる育成室の体制を

問 留守家庭児童育成室の緊急の利用希望について、現状の対応を示せ。
答 入室枠に余裕がない場合は空きが生じ次第、入室の案内をしている。
問 緊急の際は、入室できるまで市が助成し、民間の育成室利用を認めると、体制を整備すべきでないか。
答 民間の育成室利用は整理すべき課題が多いため、育成室の民間委託等で早期の待機児童の解消に努める。



市民と歩む議員の会
五十川有香

子どもの声を聞く体制を築け

問 こども基本法の理念に基づき、施策の決定過程で子どもの意見を聞き、反映する検討を行っているのか。
答 児童部や教育委員会等の関係所管で、具体の検討に入る認識の共有や他市事例の情報収集に努めている。
問 主体者の子どもたちに、法の理念の周知などどのように行うのか。
答 学校の授業で、こども家庭庁の資料の活用等で周知を検討している。



公明党
矢野伸一郎

お悔やみコーナーを設置せよ

問 親族等を失った悲しみの中、決まった期間で、故人の慣れない各種手続きを行うことは、心の大きな負担になる。お悔やみ関係の手続きが、一つの窓口で完結できるよう、お悔やみコーナーを設置してはどうか。
答 ワンストップでのお悔やみコーナーの設置は、遺族の負担軽減の可能性が高いと考えており、他市事例を参考にどう実現できるか検討する。



日本共産党
玉井美樹子

公園のトイレの快適化について

問 公園トイレは男女、多目的とそれぞれ独立しているのが望ましいが、末広公園のように男女共用で女性が利用しづらいままになっているのは問題外である。快適化を具現した公園便所基本計画に改定すべきでないか。
答 誰もが利用しやすいトイレづくりと適正な維持管理を目指し、今後、さらなる快適化に向け、市民ニーズを把握し、同計画の精査を検討する。



大阪維新の会
後藤久美子

年代別の公共交通の再調査を

問 3年前の公共交通基礎調査では、千里ニュータウン地域は不満が少ない結果であった。若年層は梅田等へのアクセスに満足度が高いが、高齢者から健都へのアクセスの改善を求める声も多く、実態とは違つたため、年齢別に分けて再調査すべきでないか。
答 年代別に偏りがなかったため、再調査は考えていないが、結果を分析し、特定の年代のニーズ把握に努める。



大阪維新の会
江口礼四郎

本市の特徴を生かす防犯対策を

問 防犯協定に基づき、本市と吹田警察署が連携して取り組みを行うと思うが、さらに地域や大学と連携した本市らしい安心安全の形を目指すべきと考える。市長の所見等を問う。

答市長 大学の多さを生かした防犯活動は、まさに本市らしい取り組みと考える。今般の防犯協定を契機に、吹田警察署と共に、全庁を挙げて市民の財産と命を守る決意である。



大阪維新の会
乾 謙

JR吹田駅北口の歩道の改善を

問 JR吹田駅北口アサヒビル側の歩道は、大和大学の学生が増え、通勤通学等の混雑時に双方方向の通行が困難となる。今後、新しい学部も開設され、さらに混雑が予想されるが、歩道の拡幅等の対処が必要でないか。
答 現況の歩道幅員の中で、横断防止柵の改修等による通行空間の拡幅に向け、令和6年度からの事業実施を目指し、必要な協議や調整を行う。



大阪維新の会
橋本 潤

学校での国歌の指導について

問 学習指導要領では、国歌を正しく歌えるようにすることが定められているが、どのように指導するのか。また、正しく歌えるかどうかの確認や評価について、市の所見を問う。

答 学習指導要領にのっとり、教科書を使用し、いずれの学年においても発達段階に即して適切に指導するとともに、授業の中で、教員による丁寧な確認と評価が大切と考える。



吹田党
石川 勝

大阪・関西万博への市の関与は

問 アジア初の万博開催地である本市が、大阪・関西万博を先頭に立って盛り上げ、積極的に関わる必要性を主張してきた。万博の魅力的なストーリー性の向上にもつながると思うが、市長の現段階のスタンスを問う。
答市長 実施主体に余裕がなければ、万博開催のストーリーを持つ本市が、市民と共に今回の万博の魅力向上を考えなければならないと感じている。



大阪維新の会
清水 亮佑

保育士の配置基準について

問 幼児教育・保育の現場での事故や不適切な対応事例により、子育て世帯は不安を抱えている。国は保育士の配置基準の改善を検討しているが、本市も安心して子どもを預けられる体制整備を急ぐべきではないか。

答 保育士の配置基準は、本来、国において基準の見直しを行うことが原則と考えているが、今後も国の動向を注視し、検討を進めていく。



公明党
井上真佐美

学校図書館の充実について

問 各学校が配分予算で図書を購入するだけでなく、蔵書の調査や更新その予算措置など、教育委員会が総合的な計画を持って、魅力ある学校図書館の整備を進めるべきでないか。
答教育長 子どもが自主的に読書に親しみ、主体的な学習活動を進めるうえで、学校図書館の蔵書整備等、読書環境の充実は重要である。今後も魅力ある学校図書館づくりに努める。



日本共産党
山根 建人

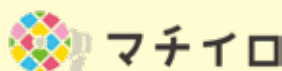
放課後等デイサービスについて

問 市内の放課後等デイサービスに通う障害児が、管理不足で行方不明となり、遺体が後日発見される痛ましい事故が起きた。このような重大事故を防ぐため、各事業所で人材確保や療育の質の向上を図れるよう市が責任を持って支援すべきでないか。

答副市長 各事業所への適切な指導や安全な運営の支援を最優先に考え、必要に応じ、国に改善の要望を行う。

市議会だよりを気軽にスマホで!

各自治体の広報紙をスマートフォンやタブレットなどで閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で、第312号(令和2年2月定例会号)以降の市議会だよりを配信していますので、ぜひご覧ください。



アプリのダウンロード▶



iOS用



Android用



自民党
泉井 智弘

自主防災組織に積極的な支援を

問 市内には多くの自主防災組織があるが、実態として、災害時に効果的な活動ができる体制ではない組織もあると思われる。市民の防災意識の向上を図り、同組織がより効果的に活動できるように市が積極的に支援すべきと考えるが、市長の見解を問う。
答 指摘のとおりで、相談の受け付けや情報提供による支援を継続しなければならないと考えている。



参政党
中西 勇太

子どものマスク着用について

問 マスクの着用で、子どもの発達、発育等への悪影響が懸念され、夏には熱中症による命の危険性もある。マスク着用に関し対応や見解を問う。
答 熱中症事故防止の観点から、命と健康を守るため、登下校時等では、マスクを外すよう声かけをしている。
答 自ら判断できない子どもに対しては、周囲の大人が、健康面において一定の配慮を行う必要がある。



大阪維新の会
川田 尚

江坂公園の広場を人工芝に

問 今年4月に江坂公園がリニューアルオープンした。子どもたちが楽しく遊べる広場にするため、市民からの要望が多かった天然芝は難しくとも、せめて人工芝をさらに広いエリアで設置すべきと考えるがどうか。
答 人工芝の設置は整備費用に加え、24時間利用できることによるいたずらの懸念等の課題が多くある。今後、利用者ニーズや先進事例を研究する。



大阪維新の会
今西 洋治

事業参入しやすい習い事助成を

問 市で実施する対象者限定の習い事代等の助成は、子どもたちが家庭の経済事情に関係なく、高質な教育等を広く享受できるようにするため、幅広い事業者の参入が必要と考える。個人の家庭教師等に適用されるのか。
答 法人格を持つ団体を基本とするが、個人事業主の場合は、事業の透明性の確保の観点から、教室等に生徒を集め指導するものを対象とする。



自民党
藤木 栄亮

PTAからの寄付について

問 PTAからの寄付に学校備品等、本来公費で賄うべきものが散見される。寄付に関して所定の手続きも取られていない。教育長の見解を問う。
答 教育長 学校の環境整備は、教育委員会が責任を持つべきで、PTAに頼つてはいけなさと考えている。寄付に対する考え方、教育委員会への報告等の必要な手続きについて、学校に改めて周知徹底を図っていく。



日本共産党
益田 洋平

不登校対策の支援体制の充実を

問 年々増加する不登校児童・生徒対策に加えて、保護者への支援も重要である。福祉的な視点も重要であるが、保護者が悩みを抱え込まないよう、適宜相談が行える窓口を明確にし、学びの場の情報を提供するなど、支援体制を充実すべきでないか。
答 相談窓口の人員体制を拡充し、既存の相談体制を強化することで、保護者支援の一層の充実につなげる。



公明党
小北 一美

市民体育館にエアコンの設置を

問 市民体育館は、多くの市民がスポーツを中心に利用しているが、一部を除きエアコンの設置がないため、夏場の猛暑での利用は、非常に危険である。該当する市民体育館にエアコンを早期に設置すべきではないか。
答 現在、体育室に大型の冷風扇を設置しているが、熱中症等への対策として空調機の設置の必要性を認識しているため、設置を検討していく。



大阪維新の会
林 恭広

職員が萎縮しない市長の姿勢を

問 桃山公園魅力向上事業の説明会で、市長の発言が、職員を傷つけたのではないかと心配する市民からの意見があった。その市長の発言部分が意図的に隠されたとは思わないが、議事録に掲載していないのはなぜか。
答 同説明会での議事録は、市民からの意見と市の回答を中心に掲載しており、指摘の市長の発言は、事業の説明部分であるため掲載していない。



市民と歩む議員の会
梶川 文代

現場第一主義で政策を決定せよ

問 政策決定のプロセスにおいて、関係者の意見や要望の聞き取りもなく、唐突に提出されている議案があり、市民不在であると感じる。現場の声を聞いて常に市民に寄り添うべきと考えるが、市長の見解を問う。

答市長 現場を大切にすることは、言うまでもなく重要である。政策の実効性を高めるため、現場感覚や市民に寄り添う心を大切にしている。



日本共産党
村口 久美子

水泳授業時の着替えについて

問 小学校低学年の水泳授業時の着替えを、男女同室で行っている小学校があり、保護者からは改善を求める要望が出ている。国の示す指針においても、更衣室は男女別の整備が求められているため、男女同室の着替えについては解消すべきでないか。

答 更衣場所の確保などの課題はあるが、各児童の心身の発達に配慮し、環境整備に努めていく。



大阪維新の会
井口 直美

いきいき百歳体操への支援を

問 いきいき百歳体操の実施グループ数は、市の目標数の半分にも満たない。いま一度、市が啓発を行うとともに、開催場所の相談や運営支援等をバックアップすべきではないか。

答 グループの立ち上げの際、開催場所の確保に苦慮していると聞いている。多くのグループが、いきいき百歳体操を実施できるよう財政支援も含めた開催場所の確保策を検討する。



日本共産党
久保 直子

改正教育基本法に則した教育を

問 平成18年の教育基本法の改正で、伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国と郷土を愛することともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養うことと改正されたが、本市では、わが国を愛する態度を養う教育活動は希薄ではないか。

答 学習指導要領に則して、各教科、各領域において、わが国を愛する態度の育成に引き続き努めていく。



日本共産党
竹村 博之

学校給食費の恒久的な無償化を

問 本市では、コロナ禍や物価高騰による臨時的な措置として、小学校給食費の無償化や中学校給食費の半額補助を実施しているが、学校給食費の恒久的な無償化を行う自治体も増えている。本市でも同様に実施すべきと考えるが、市長の見解を問う。

答市長 同費用の恒久的な無償化は、今後の社会動向などを見定めつつ、慎重な検討が必要と考えている。



日本共産党
塩見 みゆき

新芦屋の下水道未整備の解消を

問 新芦屋の地域には、私道所有者の同意を得られないために、長年、下水道未整備の箇所が存在する。未整備解消のためにも、市が私道を取得し、整備を進めるべきではないか。

答 過去に私道所有者と買収に係る協議を行ったが、適正な土地価格とのかい離が大きく、実現には至っていない。今後も粘り強く協議を行うなど、未整備箇所の解消に努める。

本会議等のインターネット放映を実施しています

より多くの市民に開かれた議会を目指すため、本会議のほか、総括質疑、討論・採決を行う日の予算常任委員会および決算常任委員会のインターネット放映を実施しています。インターネット放映は、パソコンだけでなく、スマートフォン等の携帯端末からでも視聴できます。市議会ホームページの「議会中継(インターネット)」からアクセスして、ぜひご覧ください。



議会中継



常任委員会の審査から

※分科会や委員会の質疑内容等は、委員会記録をご覧ください。また、本会議での賛否の状況は、14、15面の議決結果をご覧ください。
なお、文教市民、建設環境の常任委員会には付託案件はありませんでした。

付託案件

議案第75号 一般会計補正予算(第4号)

生活保護または児童扶養手当の受給世帯に対する子ども(小学5年生から中学3年生)の習い事費用の助成など、3億4,365万円の増額補正のほか、債務負担行為(複数年度にわたり支出を予定する事業)補正として、岸部中(北)住宅跡地複合施設整備工事設計業務などを追加
議案第76、77号 特別会計補正予算(第1号)(国民健康保険、後期高齢者医療)

国民健康保険業務および後期高齢者医療業務の一部を民間事業者に業務委託する経費として1,580万円の増額補正のほか、これらの委託業務の令和6年度から11年度までに支出を予定している経費を債務負担行為限度額として設定

予算常任委員会には予算案3件が付託されました。
付託案件および主な審査内容・結果は、次のとおりです。

予算常任委員会
〔審査案件〕
予算関係の議案

議案第75号 一般会計補正予算(第4号)



〈主な内容〉

- 消費生活事業 **1,028万円**
高齢者に対する防犯機能付き電話機等の購入費用の助成
- 文化振興事業 **66万円**
文化会館内のレストラン「さつき」跡を活用した若手アーティスト育成に伴うオープニングイベント実施に係る委託料
- 文化会館管理事業 **1,486万円**
文化会館内のレストラン「さつき」跡の修繕に係る経費
- 重度障害者支援事業 **1,798万円**
生活介護事業所に対する医療的ケア者受け入れ促進のための助成金の支給
- 障害者生活支援事業 **290万円**
計画相談支援事業所に対する障害福祉サービス等利用計画等普及促進のための助成金の支給
- 私立保育所等一時預かり助成事業 **1,625万円**
助成対象に認可外保育施設を追加、助成対象経費に開設準備経費を追加して助成
- 子どもの生活支援事業 **2,651万円**
生活保護または児童扶養手当の受給世帯に対する子ども(小学5年生から中学3年生)の習い事費用の助成
- 高齢者施策推進事業ほか **1億5,010万円**
物価高騰に係る介護・障害福祉サービス事業所や保育所等への応援金の支給
- 保育幼稚園システム事業 **2,031万円**
第2子の保育料無償化に係る保育業務システムの改修に必要な経費



文化会館(メイシアター)



定例会の概要
代表質問
質問
常任委員会
決算
議会のこと
議決結果
意見書等

○留守家庭児童育成室運営事業 **1,694万円**

放課後児童支援員等の処遇改善を行う留守家庭児童育成室運営業務受託事業者に処遇改善相当分を支給

○生活保護システム事業ほか **396万円**

生活保護基準改定に伴うシステムの改修に係る経費

○健康診査事業 **1,427万円**

歯科健診の対象者を学校歯科健診の対象となる市民を除く15歳以上に拡大するための経費

○保健推進事業 **525万円**

がん患者に対するアピアランスケア用品の購入費用の助成

○学校教育支援事業 **660万円**

いじめ・不登校等の未然防止等に向けた健康観察アプリの導入に係る経費

〈賛成意見の概要〉

○ICTを用いた健康観察による児童・生徒支援体制の構築など、一部改善を求める内容もあるが、昨年から続く物価高騰の影響により事業の運営が厳しくなっている福祉施設等への応援金など、市民の要望に応えたものであり、喜ばれる内容が提案されているため、本案に賛成する。

○債務負担行為の補正として追加された岸部中(北)住宅跡地複合施設整備工事設計業務について、ことぶき保育園および岸部第一幼稚園を統合した新たな認定こども園と、防災用備蓄倉庫を複合施設として整備するにあたり、地域への説明の場を設け、その場での意見や要望などを真摯に受け止め、地域が真に望む施設整備を設計に反映するよう強く求め、本案に賛成する。

議案第76、77号 特別会計補正予算(第1号)
(国民健康保険、後期高齢者医療)



○国民健康保険総務事業 **875万円**

国民健康保険業務の一部を民間事業者へ業務委託するための経費

○後期高齢者医療総務事業 **705万円**

後期高齢者医療業務の一部を民間事業者へ業務委託するための経費



国民健康保険課の窓口業務の様子

〈反対意見の概要〉

○申請受け付けや郵便発送等、定型的な業務の一部を民間事業者へ業務委託としているが、偽装請負のおそれや個人情報漏えいの問題など、委員会の質疑においてもさまざまな問題が浮き彫りとなり、懸念や疑問がさらに深まる結果となったことから、本案に賛成することはできない。

○国民健康保険および後期高齢者医療の申請受け付けや郵便発送等の業務の一部を民間事業者に委託しようとするものだが、ヒューマンエラーや繁忙期の人的課題を解決するために委託しようとするものであり、個人情報に深く関わる業務や、市民のプライベートな事情に関わる最前線といえる重要な仕事を人任せにする本案には反対する。

付託案件

議案第66号 積立基金条例の一部改正
新型コロナウイルス等感染症対策基金を廃止するものです。

財政総務常任委員会には条例案
1件が付託されました。
付託案件および主な審査内容・
結果は、次のとおりです。

財政総務常任委員会
〔審査分野〕
防犯・防災、消防、行財政など

議案第66号 積立基金条例の一部改正

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 新型コロナウイルスの影響が継続しているにもかかわらず、同基金を廃止する理由
- 寄付受け付け終了に関する市民からの問い合わせの有無
- 基金の充当先の決定過程
- 基金の残金の充当先を早急に決定する必要性および寄付者の意向を十分に反映した充当先の検討
- 基金の残金が一般財源化される可能性
- 一般財源を充当した事業への基金の充当の可否
- 新たな感染症が発生した場合における基金創設の可能性



教えて！議会のこと

吹田市イメージキャラクター
すいたん

「常任委員会」

最近の市政は、より高度化、多様化しているため、議案などの案件をいくつかの部門に分けて専門的、能率的に審査し、調査、検討するための「常任委員会」の重要性が増しています。本市議会では、現在、6つの常任委員会(財政総務、文教市民、健康福祉、建設環境、予算、決算)を設置しています。

常任委員会では、それぞれの所管する議案、請願などを審査し、その結果については各常任委員会委員長が本会議で報告します。

なお、36人の議員は、財政総務、文教市民、健康福祉、建設環境の4つの常任委員会のいずれかに所属しています。また、予算常任委員会には正副議長を除く全議員が所属し、決算常任委員会には正副議長および議会選出監査委員(前任と現任)を除く全議員が所属しています。



付託案件

市会議案第11号 笑顔あふれる手話言語条例

手話が音声言語と対等な言語であることへの理解と普及を進める必要があり、市民と共に、手話が使いやすい社会を目指し、必要な事項を定めるものです。

健康福祉常任委員会には議員提出議案1件が付託されました。付託案件および報告内容等は、次のとおりです。

健康福祉常任委員会
〔審査分野〕
福祉、医療、子育てなど

市会議案第11号 笑顔あふれる手話言語条例【継続審査】

〈報告内容〉

○本議案は、健康福祉常任委員会に付託されたが、審査が終わっていないため、次の定例会まで継続審査としてもらいたい。



全員賛成で
承認

市会議案第11号 笑顔あふれる手話言語条例【撤回】

〈撤回理由など〉

○本議案は、健康福祉常任委員会において、継続審査とすることを全員賛成で承認しましたが、本会議では否決されました。その後、再度開催された同常任委員会において、提案議員(3人)から手話言語とコミュニケーションを合わせた条例にしていきたいという多くの委員の意向を受け、今後、議会から両方を合わせた条例の提案および審議を期待し、当該議案を撤回したいとの申し出があったため、委員会は全員賛成で承認しました。

全員賛成で
承認



教えて！議会のこと

吹田市イメージキャラクター
すいたん

「継続審査」

継続審査とは、提案された議案などについて、当該会期中に審議が終了しなかったため、付託を受けた委員会が、閉会中に引き続き審査を行うことです。

議会は会期中に限って活動することを原則としていますが、議案等の性質などから、当該会期中に結論を得るに至らなかった場合、本会議での承認の議決により、例外的に継続審査を行うことができます。

なお、継続審査に期限を定めたときには、その期限まで継続して審査を行うこととなりますが、特に期限を定めていないときには、次の定例会までと解されています。



決算常任委員会での水道・下水道事業会計決算の審査から

7月定例会で提出された令和4年(2022年)度の水道事業会計・下水道事業会計決算認定等について、定例会終了後の閉会中に決算常任委員会で審査し、9月定例会初日にそれぞれ全員賛成で認定等を行いました。建設環境分科会での各委員の主な質疑項目は、以下のとおりです。
※分科会で質疑を行った委員の主な質疑項目を掲載しています。



会議録
検索システム

建設環境分科会 むらぐち 村口 くみこ 久美子 分科会委員長

大阪維新の会 かわた 川田 ひさし 尚

- 電気料金等の高騰に伴う節電等の対策状況
- 下水道使用料と他会計負担金の収入の割合
- 下水道の管きょ老朽化率に見る現状と対策

大阪維新の会 いまにし 今西 ようじ 洋治

- 給水原価の現状と価格上昇への対策の必要性
- 千里ニュータウン開発時に設置の配管の現状
- 有害な鉛製給水管の取り替え状況と啓発強化

大阪維新の会 はやし 林 やすひろ 恭広

- 職員の退職金や賞与引当金の経費
- 水道マッピングデータのホームページ公開
- 事業費用における流用額の増加の理由

日本共産党 かきはら 柿原 まき 真生

- 不明水処理費用の下水道料金等による負担
- 停電時の応急給水施設を増設する必要性
- 水道料金値上げ後の経営状況

公明党 いのうえ 井上 まさみ 真佐美

- 水道部・下水道部の職種別職員体制
- 風水害による浸水対策と雨水排水施設整備率
- 雨水レベルアップ事業の進捗状況

公明党 やのしんいちろう 矢野伸一郎

- DXの推進による水道事業の改善状況
- 補助金等の積極的な活用による事業の推進
- 老朽化の進む管きょの安全性と新たな指標

吹田党 いしかわ 石川 まさる 勝

- 水道水に含まれる農薬等に対する水質検査
- 高品質な水道を維持するための人材育成
- 水道事業の民営化に対する本市の姿勢



討論・採決は議場で行いました

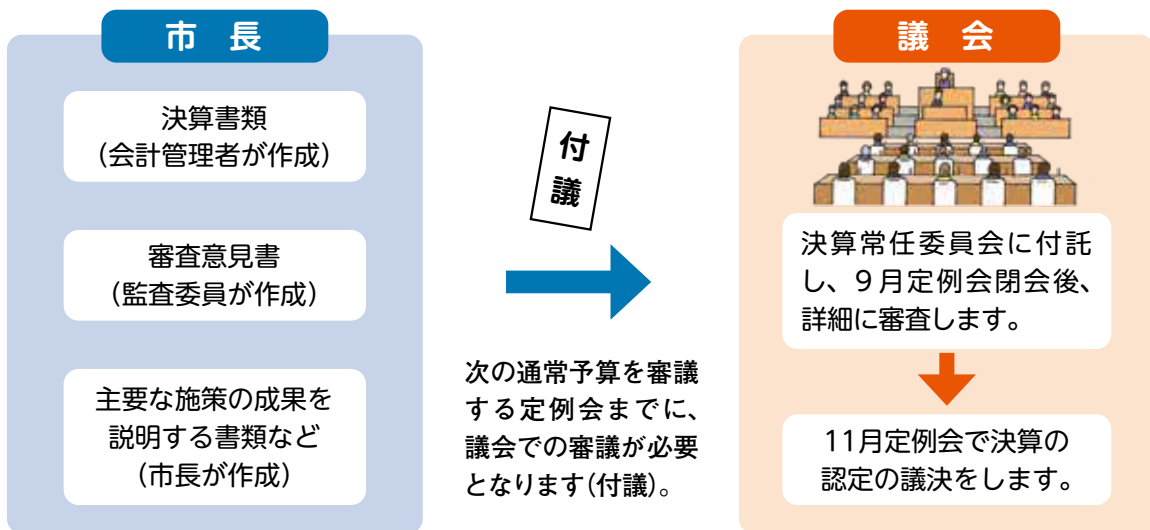


教えて！議会のこと

「決算認定ってなんだろう？」

吹田市イメージキャラクター
すいたん

地方自治法第233条では、市長は決算書類(決算は8月31日までに会計管理者が調製し、証書類などと併せて、市長に提出します。)に監査委員の審査意見を付けて、通常予算を審議する定例会(本市議会では2月定例会です。)までに、議会の認定を得なければならないとされています。この規定に基づき、令和4年度の各会計の決算関連議案が9月定例会に提出される予定です。



なお、事業会計は、地方公営企業法第30条に基づく決算認定となるため、議会への提出時期が、一般会計・特別会計と異なる場合があります。市議会の改選年は、議会の開催時期が通常と異なることから、水道および下水道の事業会計は7月定例会に提出され、9月定例会で決算の認定の議決をします。

議員研修会を実施しました

吹田市内では、特殊詐欺被害が、被害額、件数共に大幅に増加しています。

市議会としても、特殊詐欺被害の現状を知り、防止対策など知識を得ることは非常に重要であることから、吹田警察署の川畑署長かわばたを講師にお招きし、研修会を実施しました。



8月に開催した議員研修会

議決結果

<全員賛成の議案および報告案件>

議案番号	案件名	議決結果
報 告		
報告第26号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
報告第27号	地方独立行政法人市立吹田市民病院の経営状況について	報告
報告第28号	債権の放棄について	報告
条 例		
議案第66号	吹田市積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	財 原案可決
議案第67号	吹田市立こども発達支援センター条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第68号	吹田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
予 算		
議案第75号	令和5年度吹田市一般会計補正予算(第4号)	予 原案可決
決 算		
議案第78号	令和4年度吹田市水道事業会計剰余金の処分について	決 (継続審査)
議案第79号	令和4年度吹田市下水道事業会計剰余金の処分について	決 (継続審査)
認定第1号	令和4年度吹田市水道事業会計決算認定について	決 (継続審査)
認定第2号	令和4年度吹田市下水道事業会計決算認定について	決 (継続審査)
その他の議案		
議案第69号	(仮称)山田認定こども園建設工事(建築工事)請負契約の締結について	可決
議案第70号	(仮称)山田認定こども園建設工事(電気設備工事)請負契約の締結について	可決
議案第71号	資源循環エネルギーセンター2号ボイラー3次過熱器整備請負契約の締結について	可決
議案第72号	吹田市吹三地区公民館及び吹田市吹三地区高齢者いきいの間建設工事(建築工事)請負契約の締結について	可決
議案第73号	教育用Windows端末(GIGAスクール構想対応用)追加購入契約の締結について	可決
議案第74号	吹田市南消防署南正雀出張所建設工事(建築工事)請負契約の一部変更について	可決
議案第80号	吹田市教育委員会委員の選任について	同意
議案第81号	吹田市公平委員会委員の選任について	同意
議員提出議案等		
市会議案第11号 【撤回】	吹田市笑顔あふれる手話言語条例の制定について * 1	福 撤回承認
市会議案第12号	経口中絶薬承認後の丁寧な運用と体制整備を求める意見書	原案可決
市会議案第14号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	原案可決
常任委員会の所管事項に関する事務調査について		承認

<全員賛成以外の議案>

予 算		
議案第76号	令和5年度吹田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	予 原案可決
議案第77号	令和5年度吹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	予 原案可決
議員提出議案		
市会議案第11号 【継続審査】	吹田市笑顔あふれる手話言語条例の制定について * 2	福 否決
市会議案第13号	LGBT理解増進法の慎重な運用を求める意見書	原案可決
市会議案第15号	健康保険証廃止の「凍結」を求める意見書	否決
市会議案第16号	日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書	否決
市会議案第17号	特定商取引法の抜本的改正を求める意見書	原案可決

※案件名の後ろに記載している文字は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

財…財政総務常任委員会、福…健康福祉常任委員会、予…予算常任委員会、決…決算常任委員会

* 1、2 市会議案第11号については、継続審査とすることが本会議で賛成少数により否決されました。その後、再度開催した健康福祉常任委員会において、提案議員から同議案を撤回したい旨の申し出があり、本会議で当該議案の撤回について全員賛成で承認しました。

賛否一覧表

全員賛成以外の議案について掲載しています。

議決結果	大阪維新の会								日本共産党					公明党			自民党			吹田党		市民と歩		参政党		立		賛成	反対							
	後藤久美子	川田尚	江口礼四郎	清水亮佑	今西洋治	林恭広	橋本潤	乾将敏	高村直美	井口直美	益田洋平	玉井美樹子	山根建人	村口久美子	竹村博之	塩見みゆき	柿原真生	浜川剛	井上真佐美	野田泰弘	矢野伸一郎	小北一美	坂口妙子	石田就平	澤田直己	白石透	泉井智弘			藤木米亮	石川勝	後藤恭平	有澤由真	梶川文代	五十川有香	久保直子
予算																																				
議案第76号	原案可決			○								×					○				○		欠		○		○		○	×		○		○	25	9
議案第77号	原案可決			○								×					○					欠		○		○		○	×		○		○	25	9	
議員提出議案																																				
市会議案第11号【継続審査】	否決				×							○					×					欠		×		×		○	×		○		○	10	24	
市会議案第13号	原案可決				○							×					○					欠		○		○		×		○		○	20	14		
市会議案第15号	否決				×							○					×					欠		×		×		○	×		○	10	24			
市会議案第16号	否決				×							○					×					欠		×		×		○	×		○	10	24			
市会議案第17号	原案可決				○							○					×					欠		×		×		○	×		○	20	14			

賛成者は○、反対者は×、欠席者は欠としています。 会派名：市民と歩=市民と歩む議員の会、立=立憲民主党



塩見議員



柿原議員

永年勤続議員の表彰
 全国市議会議長会から20年の永年勤続議員として柿原真生議員、塩見みゆき議員が表彰され、この伝達式を7月12日の本会議において行いました。



教えて！議会のこと

「意見書・決議」

吹田市イメージキャラクター すいたん

「意見書」とは、地方自治法第99条に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、国会(衆議院および参議院)や関係行政庁に対し、地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめて提出する文書のことです。議員から市会議案として本会議に提出され、審議の結果、可決された場合に国会などに提出します。

「決議」とは、議会が行う事実上の意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明するなどの目的で行うもののことですが、法的な拘束力はありません。

また、決議の種類の一つである「附帯決議」とは、議案を議決するにあたって、議会の留意事項等の意見として付すものをいいます。

本定例会で可決した意見書の概要は、16面に掲載しています。(意見書の詳細な内容は、市議会ホームページをご覧ください。)



i 議案審査の詳細な内容等は、本会議録や委員会記録(図書館等での閲覧のほか、市議会ホームページの会議録検索システムからでも閲覧可能)をご覧ください。

議 会 日 誌

2月定例会閉会後の主な議会活動

開催した会議		
5月	9日	議会広報委員会
	29日	代表者会
6月	2日	役選代表者会
	5日	本会議、代表者会、役選代表者会
	6日	本会議、代表者会、役選代表者会
	9日	議会運営委員会
	12日	本会議、議会運営委員会
	14日	議会広報委員会
	28日	議会運営委員会
7月	5日	議会運営委員会
	12日	本会議、議会運営委員会
	19日	本会議
	20日	本会議
	21日	本会議、議会運営委員会
	24日	本会議、常任委員会(財政総務、文教市民、健康福祉、建設環境、予算)
	25日	財政総務常任委員会、予算常任委員会分科会(財政総務、文教市民)
	27日	健康福祉常任委員会、予算常任委員会健康福祉分科会
8月	28日	予算常任委員会健康福祉分科会
	1日	予算常任委員会
	3日	議会運営委員会
	7日	本会議、決算常任委員会、議会運営委員会、健康福祉常任委員会

～意見書～

次の意見書案を可決し、政府等に送付しました。

- 経口中絶薬承認後の丁寧な運用と体制整備を求める意見書
- LGBT理解増進法の慎重な運用を求める意見書
- 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書
- 特定商取引法の抜本的改正を求める意見書

なお、意見書の詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

～人事案件～

7月定例会では、次の方々の選任に同意しました。

- 教育委員会委員(任期4年)
和田 光代 氏
- 公平委員会委員(任期4年)
塩野 隆史 氏

令和5年(2023年)9月定例会日程

9月定例会を9月13日(水)から10月10日(火)までの会期で開催しています。なお、以下の日程以外にも委員会等を開催する場合があります。本会議、常任委員会は、原則、10時開会予定でいずれも公開しています。

※本会議での保育付き傍聴(9月13日の提案説明を除く)や手話通訳の派遣を実施していますので、希望される方は、事前に議会事務局(電話06-6384-2644 FAX06-6338-0920)までご連絡ください。

9月13日(水) 本会議(提案説明)	9月26日(火) 財政総務常任委員会、予算常任委員会財政総務分科会
20日(水) 本会議(質問)	文教市民常任委員会、予算常任委員会文教市民分科会
21日(木) 本会議(質問)	27日(水) 予備日 予算常任委員会分科会(財政総務、文教市民)
22日(金) 本会議(質問)	28日(木) 健康福祉常任委員会、予算常任委員会健康福祉分科会
25日(月) 本会議(質問)	建設環境常任委員会、予算常任委員会建設環境分科会
予算常任委員会(提案説明、資料要求)	29日(金) 予備日 予算常任委員会分科会(健康福祉、建設環境)
4 常任委員会(提案説明、資料要求)	10月3日(火) 予算常任委員会(討論・採決)
	10日(火) 決算常任委員会(提案説明、資料要求など)※午前9時20分
	本会議(討論・採決)

※本会議の各質問日の質問者・項目を事前に市議会ホームページに掲載しています。